

兵庫県淡路市で実施した実証実験の成果

1. 実験概要

健康増進の一環として実施する「いきいき 100 歳体操」事業において、参加者の医療費・介護費の抑制と職員の業務効率向上を目的に、体力測定と医療費・介護費の相関分析、ICT ツールの導入による業務効率の検証を実施中

2. 期間

2018 年 11 月 1 日から 2020 年 3 月末まで

3. 対象者

いきいき 100 歳体操参加者、地域コミュニティ参加者および特定保健指導受診者のうち、データ分析に同意いただいた市民

4. 検証項目

- ・体操に参加している人、していない人の医療費・介護費の差額
- ・参加者の体力測定として、高齢者の身体機能評価に用いられる指標である TUG (Timed Up & Go) および開眼片脚立位の時間を計測し、参加者に対し健康レベルのフィードバックを実施することによる体操への参加、継続意識の調査
- ・体力測定では、従来のストップウォッチでの計測からウェアラブルデバイスを利用した自動計測に変更すること、およびクラウドを用いたデータ集約による業務効率の向上効果

5. 結果

- ・体操に参加している人は、参加していない人に比べて、医療費・介護費が低く、体操に医療費・介護費の抑制効果があることが把握できた。
- ・体力測定結果をもとにした健康状態のフィードバックが、継続参加の要因となることが把握できた。
- ・自動計測により計測結果のデジタル化およびデータ集約によりデータ分析に要する時間が短縮され、業務が効率化されることが確認できた。